

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 32-004

PDCA	事務事業名	議会情報関係事業	部課等名	市議会事務局 議事課 議事担当	担当 内線等	小池 542	
<b>P</b> 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第6章 自立した地域経営のまち					
		節： 第1節 行財政運営とサービスの向上					
		基本施策： 1. 行政運営					
		単位施策： 個別施策：					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	市民に対し開かれた議会を目指し、議会日程、一般質問要旨、会議録など議会に関する情報を適切に提供する。また、情報公開に関しては可能な限り要請に応える。					
	目的を達成するための手段・活動内容	全戸配布する「はんだ市議会だより」の発行にあたり、広報委員会を開催し編集作業を行う。議会ホームページにより最新情報を提供する。情報公開条例に基づき情報を開示する。開かれた議会となるよう、議会報告会や市民と交流するイベントを実施する。					
<b>D</b> 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①「はんだ市議会だより」の発行回数	5	5	5	回	
		②市議会広報委員会開催回数	16	19	10	回	
		③会議録検索システムの更新回数	7	7	8	回	
		事業費	3,436	3,514	3,539	千円	
		人件費	4,765	4,759	4,060	千円	
		総事業費	8,201	8,273	7,599	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①「はんだ市議会だより」発行1回当たりのコスト	663,895	615,769	633,509	円		
		0					
	0						
成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
	議会情報提供を滞りなく円滑に行うことができた。	実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	<b>B</b> 広報広聴委員会を“広報”と“広聴”に細分化し、更にその他“交流企画”として、開かれた議会となるよう市民と交流するイベント等を充実させる目的の委員会を設置した。また、はんだ市議会だよりを、マチイロ（自治体広報紙を無料で掲載するアプリ）へ掲載し、より多くの市民に向けて議会の情報発信が様々な媒体でできる仕組みを作った。若い世代にも議会に関心を持ってもらえるような紙面とするため、高校生との意見交換会を実施し、素直な意見を得ることができた。					
<b>A</b> 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b> 広報、広聴、交流企画と委員会を細分化し、委員会に関わる委員を増やすことで、議会からの情報発信がより丁寧に行えることが期待できるが、議会報告会への参加者が少なく毎回同じ顔触れであるため、開催方法や募集方法を見直す必要がある。また、交流企画委員会では秋以降の活動がないため、開かれた議会を推進するための新たな活動を検討する必要がある。					
	令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		円滑な議会情報提供が目標であり、成果指標の設定が困難であるため、文章にて成果を表記する。					